

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	家庭 家庭基礎		単位数	2 単位	履修学年	3 年
目標	生活者としての自己認識と生活に関する科学的認識を基礎として、生活課題を主体的に解決し、現在および将来の生活を充実向上することのできる資質・能力を育成する。					
使用教材	教科書： 出会う・かかわる・行動する「家庭基礎」（教育図書）					
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)		
	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的・実践的な態度を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題の解決を目指して、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活産業の社会的な意義や役割を理解している。		
評価方法	関心・意欲・態度を総合的に判断して評価します。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	1. 人はなぜ衣服を着るのか 2. 衣服は何からできているのか 3. 健康的で快適な衣生活をつくる			被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と被服実習により技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。		
2	1. 自分を見つめる 2. パートナーと出会う 3. 家族って何だろう 4. 家族と法律			生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解させ、青年期の課題を踏まえて、男女が協力して家族を築くことの意義と家族や家庭生活の在り方について考えさせる。		
3	1. 主体的な消費行動 2. 消費者の権利と責任 3. 資源・環境を考える 4. 人と住まいのかかわり			家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得させるとともに、現代の消費生活の課題について認識させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。		
学習上の留意点	本校では、家庭基礎を2年、3年の2年間かけて行います。実習もあるので積極的に参加するように心がけてください。					